

着ナフトール
尺着モスリン
模様銘仙
平町 龜田屋
電五七

大共榮 簡易の
大共榮 簡易の
大共榮 簡易の
大共榮 簡易の

活動狂時代
あはれな唄をあげて黄昏
の町を家路に辿る孤兒の影
はもろかなし

百萬兩秘聞
風死し月落ち一鳥啼かぬ幽
靈野深夜古蹟を搔く若侍
謎のお白及閃く

有聲座
帝キネ
尾上紋十郎主演
時代劇 梁川庄八
前後篇十五巻全部上映
奥州仙台の脱藩牢破り庄八
が豪傑ものがたり

常新新聞
三月二日夕刊
日刊 發行編輯人 川崎文治
本社下町番地 (電話六三〇番)
印刷所 常盤毎日印刷所

腸胃 梅毒
専門 皮膚病
院病村松
電話七〇一

科外 藤沼醫院
平町紺屋町
電話園五〇七番

科外 上田外科醫院
入院應需
電話一二九番

名特 吉田屋 染工場
徒弟入用 一三四歳位ノ者四五名

原齒科醫院
平町土橋通り電話三一三番

御進物には
ヤマフルの商品券が一番
鹽屋 山崎合名會社
電話(營業部)一〇番
電話(醸造工場)二七番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平南町(電話一七〇番)

陳列場に現る
御買上金貳圓以上
福引券一枚進呈
期日三月一日より七日間

中野吳服店
平町三丁目(電話六七番)

佐川齒科醫院
院長 齒科 佐川 涉
技工主任 平井 要三郎
(電七五九)

常磐文藝
◇小曲 島田丹光
△春は來ぬ
あたらしきみどりに
草は萌ねたり
かざろひの丘春は來ぬ。
放たれし牛
柔きしとねにまろび
おほらかに春を呼び
長閑なる春に話かけたり
△春宵抒情
かたはれ月の
ほの白く
紫の矢車
ほのかに色見えて
われ……そらろに

た知らせ
最近非常な勢の文藝投稿
が増えました、そこで常
に紙上に艶麗な歌を寄せ
られて居た佐藤清子さん
に願って選をして戴く事
になりました、今後も投
書家中の優秀な人々に順

一冊の代金で
御希望通りの
五冊の雑誌が
自由に読める
川崎文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)

町平 吉田眼科醫院

大工町方面に 魚市場が移轉

平郵便局の建築で 現在の位置には置けない

平町の魚市場は石城七濱出荷の集散場として近年著しく發達を示し益々賑賑を極めてゐるが現在の市場所在地は町の中心なる四丁目にありて

町民が 市場難踏時により蒙る迷惑は交通に衛生に頗る甚大なるものありしが之れが移轉改良説に就ては屢々高唱されて來たが改良案としては現在場所として到底完全なる方法を施す途なく彼我共に其不便を忍んで來たが愈々四丁目へは

東北に 誇るべき大郵便局も建築される事となり

平町文化の發祥地は現在市場附近となるので最早現位置に存続せしむる事情の不可能なるに迫られたので遂に其移轉濃厚となり適當なる敷地の物色に着手せらるが如く傳へらるゝに至りたれば早晩

其實現 を見るに至るべく敷地は大工町方面に假定されてゐる

磐城米の 品質向上が 目下の急務

中穀物検査所の手により移出検査を行った昭和二年度産米俵数は二月末日現在で

全額交付済みとなるため來たる五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣工式並びに祝賀會を擧ぐる事となつたが各種の催しに同町空前の賑ひを呈するであらう

電話の賣物 續々現はる

ブローカーの當が外れ 投げ賣同様に

不況行詰まりのドン底にある石城地方は最近殊に一般の消長を左右する炭礦が近年にない程の山元貯炭があり極度の經營難に陥つてゐるため一般商況の振さはざること夥しく

炭礦を 唯一の顧客としてゐた平町の多數の商店は止むなく店の縮少を餘儀なくされる有様でさらだに不況の折柄全く四苦八苦の苦境に沈淪してゐる

平町には電話の賣ものがどしどし現れ昨年中だけでも七十個以上の名儀 變更が あつた本年に入つてからもすでに二十

築港竣工式 江名濱にて

祭りの日に

工費卅一萬餘圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも完全なドック式の築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名濱町で三年度を以て縣の補助金



炭火の注意

座敷などを締切つて長く炭火を使つてゐると、一酸化炭素の中毒を起すことが

信用録延期 東北實業新報社より豫約出版さるべき『磐城信用録』は都合により發行日を昭和三年七月五日と變更した由

山田村農會主催の一般肥料及堆肥講習會は七日頃村農會事務所で開催されるはずであるが講師の任に當り神尾農林技師は肥料の選定及肥料と土壤の關係につき一般農村が比較的其研空心に乏しく往々にして失敗をまねき居るにかんがみ之れが實際の應用に適した講習會を行つて見たいと語つてゐた

坑夫組合協議 別項

磐城炭礦の従業員賃銀一割値下漸行について日本坑夫組合内郷支部では不況を理由に賃銀の一割値下は勞働者冷遇の甚だしきものとなし對策につき目下考究中である

平町人事

- ▲出生 △紺屋町二九 會田初太郎五男 澤 △一丁目二九 當時仙台市北三番町 安田貞二氏長女登和子 △田町五八 當時石城郡川前村藤下 勝二氏二男勝雄
- ▲婚姻 △石城郡川前村無職 佐藤米江氏（六七） 大工町一六 倉持フク（四八） △南町三三 小學教員田村英顯（二七） 内郷村山田ミサ（二四）

肥料講習會 石城郡

あります。この状態は最初軽い頭痛を覚え次いで烈しい嘔吐症なるか、又は急激な呼吸の壓迫と共に卒倒してその儘死亡するやうな場合もあり、若し中毒患者を發見した時には風通しのよい別室に移して人工呼吸を行ひ、意識の回復を待つてブドウ酒のやうな興奮

新入生の 父兄の注意

（四）

- 五、石盤に書いたまゝ持ち歸つたものは必ず復習させるやうに
- 六、その日に習つたことは必ずその日に復習する習慣をつけるやうに
- 七、子供たちが復習をする時には父兄が出来るだけ監督してやるやうに、何事も最初が大切一年の計は正月元日にあれど人の一生の計は出發點である小學校の一年生の時の親の些細な指導でも子供がの一生を支配するやうになる
- 八、通信表は子供の成績及び出席欠席等を家庭へ報告するものだから是非目を凝して認印を押して學校に戻すこと
- 九、學校を休む時早引又は遅刻をするときにはその理由を口上又は書面で學校にと、けることこれは子供の監督上もつとも大切なことでこれを怠ると子供が學校に行つたやうな顔をして活動寫眞などに行く習慣がついたりと起る
- 十、先生が児童に申し渡した事を児童が聞き誤つて家庭に傳へる事がよくあることあるから不審なことがあつたなら學校の受持の先生に問ふこと
- 十一、學用品を共同で買ふのが便宜な場合もあるがその時受持の先生が

その品名と價格とを家庭に知らせるからその時指定の金額を渡して貰ひたい

十二、閑の時には出来るだけ子供の行つて居る學校を參觀して校長先生や受持の先生に種々のことを相談する事子供の習慣の矯正、善い點悪い點、性質その他何でも先生と相談して置くことが大切である

十三、女の子は特に左の胸に學校所定の徽章をつけること

十四、児童は學校から歸ると受業や遊戯でかなり精神も身体も疲れてゐる上に氣良くどびまわる爲汗を流し塵にまみれるから出来るだけ毎日入浴させることが大切である

右のやうに書並べるとかな

親は子供が生れると直ぐから服装の事を心配する人間の歴史は衣裳の歴史だと言はれる程人間の衣裳本能が強いものだから學校と服装とを直ぐ結びつけて考へるのも止むを得ないだらうが親の趣向から子供の好き嫌ひを無視して勝手な着物を被せるのも考へ物だらう

殊に小學校の生徒はこれから大きくなつて行く發育期にあるのだから出来るだけゆつくりとした勝手に飛び廻つて少し位汚してもせぬ程度の物が良いその點小倉の服などは男の子供には最も適當なものだらう